

第1学年 学力向上のための学習指導案（国語科）

日 時 平成31年1月18日（金）第5校時
場 所 越知小学校 1年B組教室
対象学級 1年B組 16名
指 導 者

1. 単元名 「どうぶつの赤ちゃんはかせになろう！」 ～「どうぶつの 赤ちゃん」（光村図書 1年）～

2. 単元の目標

- 時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。
- 主語と述語の関係に注意して、敬体で書かれた説明を理解できる。

3. 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の赤ちゃんを比べながら読み、その違いについてまとめている。 ・目的に応じて、文章の中から大事な言葉や文を書き抜いている。 <p style="text-align: center;">C (1) ウ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語の関係に注意し、動物の赤ちゃんの様子を読み取っている。(1) カ ・敬体で書かれた文章に気付いている。(1) キ

4. 単元設定の理由

(1) 学習指導要領を受けて

この単元は、学習指導要領の下記の内容を受けて設定したものである。

<p>「C読むこと」 内容…時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。(1) ア 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。(1) ウ</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」 内容…文の中における主語と述語との関係に気付くこと。(1) カ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。(1) キ</p>

本単元では、教材文「どうぶつの赤ちゃん」を読みライオンとしまの赤ちゃんについての理解を深めた後で、カンガルーの赤ちゃんについてさらに学習を広げていく単元構成になっている。同時に並行読書を取り入れていき、自分が選んだお気に入りの動物の赤ちゃんの成長をみんなに伝えるために「どうぶつの赤ちゃんはかせカード」を仕上げていく活動につなげていく。

本教材は「くちばし」「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」に続く説明的文章である。文章のはじめに二つの問いが示され、続けてそれに対する答えが説明されているところが「じどう車くらべ」と似ているが、説明部分が長くなっている。文章を読み、書かれていることと自分の関係を結びつけたり、比べたりするという学習を「うみのかくれんぼ」に続き経験することのできる教材である。

単元の指導にあたっては、時間的順序や事柄の順序に沿って違いを比べながら読む力を育てていきたい。そのために並行読書を行い、様々な動物の赤ちゃんの図鑑や科学読み物を読み進め、言語活動として今回は自分が選んだお気に入りの動物の赤ちゃんについて「どうぶつの赤ちゃんはかせカード」を書くというゴール設定にして取り組む。教材文の読み取りの視点は生まれたばかりのときの様子で成長していくときの様子の二点に分かれている。生まれたときの様子は「体の大きさ」「目や耳の様子」「親と似ているかどうか」、成長していくときの様子は「歩くときの様子」「えさの内容」「えさの取り方」という観点で比べられるようになっている。それぞれの視点ごとに違いが分かるように大事な言葉や文を書

き抜いていく学習をしていきたい。

本時は、しまうまの赤ちゃんの成長の様子を文章から読み取り、そのうえでライオンの赤ちゃんの成長の様子と比べ、違いや似ているところを友だちの意見とつながら話し合うことをねらいとしている。成長していく様子をイメージできるように、実物大の赤ちゃんの絵や動画を見せ、文章や説明のことばと対比させることで二種類の動物の赤ちゃんの成長の様子の違いやその理由について考え、深い話し合いができるようにしていきたい。自力解決では、しまうまの赤ちゃんの「歩くときの様子」「えさの内容」「えさの取り方」の三観点について文章から読み取り、ペアで話し合いながら表にまとめていく。次に二種類の動物の成長の違いや分かったことをペアで交流し合う時間を設ける。そして全体学習では、ペアの話し合ったことを全体で共有し、それぞれの動物にあった成長の仕方があることに気づかせるように仕組んでいきたい。動物の成長は肉食動物か、草食動物かそうでないかによって異なるが、どちらもそれぞれの生を全うしているという自然の生態系を認識させることにもつなげていきたい。話し合いの中で「〇〇さんと似ていて〜。」「〇〇さんとちがって〜。」などの言語わざを使って、出された意見をつなぎ深い話し合いになるようにしていきたい。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、一学期に「くちばし」で、「問いー答え」が3回繰り返されている文章を読み、言語活動として『くちばしクイズカード』にまとめる学習を行った。さらに二学期に学習した「うみのかくれんぼ」では、「問いー答えー答えー答え」で構成された文章を読み、「うみのかくれんぼクイズ」を作成した。また、次の「じどう車くらべ」では「二つの問いー答えー答えー答え」で構成された列挙型の説明的文章を読み、「じどう車ずかん」にまとめる学習を行っている。図鑑まとめは一年生にとっては説明的文章を書くことは難しい活動であるが、じどう車の絵を手がかりに今まで学習してきた知識や図鑑からの情報を使って楽しみながら書くことができていた。しかし、時間的な順序や様子について意識するにはまだまだ不十分である。

音読では、すらすら読める児童、拾い読みをする児童など個人差が見られる。言葉や文のまとまりとして文章を読めない児童がいる。しかし、日々の家庭学習等で音読を続けていく中で、少しずつではあるが、言葉のまとまりとして読める児童も増えてきている。これまでの説明文の学習では、「問い」と「答え」にはサイドラインを引き、文の表現に着目させるようにしてきた。文章の大体を読み取ることができるようになった児童もいるが、内容を正確に読み取ることができない児童も見られる。本単元でもキーワードとなる言葉に線を引いて学習をしていくが、文章と挿絵、さらに動画を使い、対比しながら内容を理解させていきたい。

(3) 研究主題との関連

『主体的・対話的な学びを通して、練り合いが深まる授業指導の実践～オーセンティックな学びをめざして～』という研究主題を受け、国語科においても学習リーダーを中心に児童主体の授業を進めていくことを意識してきた。前時の振り返りを行ったあと、問いの共有、課題設定、問いに対する見通しを確認し、自力解決を図ることを全校で統一し、授業を進めている。授業の中では、必ずペア学習を取り入れ、自分の言葉で考えを伝え合ったり、友だちの考えを自分の考えと比べて聞いたりするなかで、主体的・対話的な学びにつながるよう意識している。全体学習では、教師の役割として友だちの意見をしっかり聞いたり、つなげて発言できた児童を評価したり、切り返しを行ったりして、練り合いが深められるよう努めている。

本時では、しまうまの赤ちゃんの成長の様子を時間的な順序や事柄を考えながら読み取っていくことをねらいとしている。前時までに学習したライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれた様子を挿絵と動画を使い、文章と対比させることで本時の課題に対しての意欲や読み取りの支援をしていきたい。また、既習の学習の流れを小黒板などに掲示をしておき、いつでも確認ができるようにし、さらに前時とのつながりを考えられるようにしていきたい。交流が深まらない場合は、動画を見せたり、教師が効果的に切り返しを行ったりしていきたい。さらに、ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の様子の違いについて取り上げ、二種類の動物にあった成長の仕方があることに気づかせていきたい。

5. 指導と評価の計画（全10時間 本時 6/10）

関：国語への関心・意欲・態度

読：読むこと

言：言葉の特徴や使い方に関する事項

次	時間	学習内容	評価			
			関	読	言	評価規準（評価方法）
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 「動物の赤ちゃん」について知っていることを出し合い、話し合う。 お気に入りの動物の赤ちゃんの様子を図鑑で調べ、「どうぶつのあかちゃんはかせ」になることを学習課題として設定し、確認する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> どうぶつの赤ちゃんや生まれたときの様子について関心を持ち、学習課題をとらえている。 [ノート・発表]
	2	<ul style="list-style-type: none"> 「どうぶつの赤ちゃん」を読み、感想を伝え合う。 本文から「問い」の文を見つける。 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 初めて知ったことや不思議に思ったこと、もっと知りたいことなどの感想をもっている。 [ノート・発表] 敬体で書かれた文章に慣れている。 [発言]
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 第二段落を読み、ライオンの生まれたばかりの様子を読み取る。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> 体の大きさや目や耳の様子などに着目し、必要な言葉や文を書き抜いている。[ノート] 主語や述語の関係に気を付けて読んでいる。 [ノート・発言]
	4	<ul style="list-style-type: none"> 第五段落を読み、しまうまの生まれたばかりの様子を読み取る。 ライオンとしまうまの生まれたばかりの様子を比べ、違いについて話し合う。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> しまうまの生まれたばかりの様子を読み取り、ライオンとの生まれたばかりの様子を比べ気づいたことを話し合うことができる。 [発言・ノート]
	5	<ul style="list-style-type: none"> 第三段落・第四段落を読み、ライオンの赤ちゃんの成長の様子を読み取る。 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 時間の順序を表す言葉に着目し、赤ちゃんの成長について必要な言葉や文を書き抜いている。 [ノート] 主語や述語の関係に気を付けて読んでいる。 [ノート・発言]
	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 第六段落・第七段落を読み、しまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取る。 ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の様子を比べ、違いについて話し合う。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> しまうまの赤ちゃんの成長を読み取り、ライオンとの成長の様子を比べ、気づいたことを話し合うことができる。 [発言・ノート]
	7	<ul style="list-style-type: none"> 「カンガルーの赤ちゃん」について読み、ライオンやしまうまと比べて、特徴や違うところを見つけ、考えたことを話し合う。 		◎		<ul style="list-style-type: none"> 三種類の動物の赤ちゃんを比べ、それぞれの特徴や違うところを見つけている。 [発言・ノート]
3	8	<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの動物の赤ちゃんについて図鑑で調べ、ノートにまとめる。 	◎			<ul style="list-style-type: none"> お気に入りの動物の赤ちゃんについて書かれている図鑑や文章を進んで読もうとしている。 [観察・ノート]
	9	<ul style="list-style-type: none"> 「どうぶつの赤ちゃんはかせカード」を完成させる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 図鑑や文章を読み、必要な言葉や文を書き抜いている。 主語と述語に気を付けながら書いている。 [ノート]

10	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した「どうぶつ赤ちゃんはかせカード」を見合い、感想を伝え合う。 ・本単元の振り返りをする。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・調べた動物の赤ちゃんを教え合い、文章のいいところや感想を進んで伝えようとしている。 <p>[発言]</p>
----	---	---	--	--	--

6. 本時の構想

(1) 目標

- ・しまうまの赤ちゃんの成長を読み取り、ライオンとの成長の様子を比べ、気づいたことを話し合うことができる。

(2) 教科の働かせたい見方、考え方

- ・自分自身の知識や体験と結びつけて感想を持つ。

(3) 本時の評価規準

- ・しまうまの赤ちゃんの成長を読み取り、ライオンとの成長の様子を比べ、気づいたことに話し合うことができる。

評価	評価基準	学びをみとるキーワード	
A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点からライオンとしまうまの赤ちゃんの成長を比べることができる。 ・比べたうえで、気づいたことを分かりやすく表現したりなぜ違うのか理由を付けたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二カ月ぐらい ・一年ぐらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・三十ふんもたたないうちに ・つぎの日 ・たった七日ぐらい ・けれども
B	<ul style="list-style-type: none"> ・しまうまの成長を文章から読み取り、ライオンとの成長の様子と比べることができる。 		
C	<ul style="list-style-type: none"> ・しまうまの成長を文章から読み取ることができている。 		

(4) 研究協議の視点

- ライオンとしまうまの成長の様子の違いに気づき、友だちの意見とつなげながら自分の考えを深めることができたか。

(5) 展開

学習過程	学習活動	○教師の働きかけ ◇評価 (方法)	学習用語
<p>導入 (2分)</p> <p>課題把握 (4分)</p>	<p>1 前時までの学習を振り返り、 問いを確認する。(ぶつぶつタイム) ・前の学習は、ライオンとしまうまの赤ちゃんの時の様子を比べました。</p> <p>2 しまうまの成長が書かれている場面を読む。</p> <p>3 本時の課題を提示する。</p>	<p>○全時の学習で学んだことやキーワードを掲示しておく。</p> <p>○二つの問いを確認する。</p>	<p>時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二カ月ぐらい ・一年ぐらい ・三十ぶんもたたないうちに ・つぎの日 ・たった七日ぐらい ・けれども
<p>㉞ライオンとしまうまの赤ちゃんはどのようにちがうだろう。きづいたことやかんがえたことをつたえよう。</p>			
<p>問いの共有 (見通し)</p> <p>シラバス 言語わざ</p> <p>自力解決 (7分)</p>	<p>《1人学び(7分)・ペア学び(2分)・全体学習(20分)・まとめ(5分)・振り返り(5分)》</p> <p>言語わざ：ともだちの意見につなげて発表する。</p> <p>○しまうまの大きくなっていく様子を読み取りましょう。</p> <p>うごくとき…三十分もたたないうちに、じぶんで立つ。</p> <p>つぎの日にはしる。</p> <p>おちちをのむじかん…たった七日ぐらい</p> <p>えさ…じぶんで草をたべる</p>	<p>①せんをひく。 うごくとき→赤 おちちをのむじかん→青 えさ→みどり</p> <p>②わかったことをひょうにまとめる。 みじかいことば</p> <p>③ライオンとしまうまの大きくなったようすをくらべてきづいたこと。</p> <p>④ライオンとしまうまをくらべてきづいたこと。</p>	
<p>ペア学習 (2分)</p>	<p>4 しまうまの成長の様子をペアで確認し、表にまとめる。</p>	<p>○「うごくとき」に赤線、「おちちをのむじかん」に青線、「えさ」に緑線を引いて色分けし、ペアで確認させる。</p> <p>○全体で「うごくとき」と「おちちをのむじかん」、「えさ」について確認し、大事な言葉をおさえる。</p> <p>○自力解決の見通しが持てているかハンドサインチェックを行う。</p> <p>○学習リーダーに学習の流れを確認させる。</p>	
<p>全体学習 (20分)</p>	<p>5 しまうまの成長を表にまとめ、二つの動物の成長で気づいたことを全体で話し合う。</p> <p>①表から気づいたことを全体で発表しましょう。</p> <p>・ライオンの赤ちゃんは自分で歩くことができないけど、しまうまの赤ちゃんは生まれた次の日に自分で歩くことができます。【B評価】</p> <p>・しまうまの赤ちゃんの方が自分で食べ物を取るのが早いです。【B評価】</p>	<p>○言語わざを使い、発表ができるようにする。</p>	<p>・○○さんに付け加えて～。</p> <p>・○○さんとちがって～。</p> <p>・○○さんとにていて～。</p>
<p>・考察</p> <p>まとめ (5分)</p>	<p>②今までの学習でライオンとしまうまの赤ちゃんを調べてきましたね。その中できづいたことを発表しましょう。</p> <p>・ライオンは、生まれてすぐにお母さんが守ってくれるから、歩けなくても命の危険はないけど、しまうまは自分でにげないといけないから、すぐに立てるのだと思います。【A評価】</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	<p>◇しまうまの赤ちゃんの成長を読み取り、ライオンとの成長の様子を比べ、気づいたことに話し合うことができる。[発言・ノート]</p> <p>○リード文を掲示しておき、児童の言葉でまとめるようにする。</p>	
<p>㉞ライオンとしまうまの赤ちゃんをくらべると () ちがうところがある。</p>			
<p>振り返り (5分)</p>	<p>7 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったこと ・友達から学んだこと 		

7. 板書計画

どうぶつの 赤ちゃん ますい みつこ 文
 つきもと かよみ え

④ ライオンとしまうまの赤ちゃんはどのようにならうだろうか。
 きづいたことやかんがえたことをつたえよう。

大きくなっていくようす

えさ	おちちをのむじかん	あるくとき	ライオン
一年ぐらい たつと、えもの をとる	二か月ぐらい	あるけな い	しまうま
草もたべる	七日ぐらい	三十ぶんも たたないうち に、たちあがる	

- ① せんをひく。
うごくとき ↓ 赤
おちちをのむじかん ↓ 青
えさ ↓ みどり
- ② わかったことをひょうに
まとめる。
- ③ ライオンとしまうまの大
きくなったようすをくら
べてきづいたこと。
- ④ ライオンとしまうまを
くらべてきづいたこと。

もち
とだ

〈きづいたこと〉
 ・はじめは二つのどうぶつともおちちをのむけど、だんだんと
 じぶんでたべものがとれる。
 ・ライオンの赤ちゃんは自分であるくことができなけれど、しまう
 まの赤ちゃんは生まれたつぎの日じぶんであるくことができる。

うつ
こさ

・ライオンは、生まれてすぐにおかあさんがまもってくれるから、あ
 るけなくてもいのちのきけんはないけど、しまうまはじぶんでにげ
 ないといけないから、すぐに立てる。

ふり

⑤ ライオンとしまうまの赤ちゃんをくらべると
 () ちがうところがある。

しまうまの赤ちゃんは、生まれ
 て三十ぶんもたたないうちに、じ
 ぶんでたち上がります。そして、
 つぎの日には、はしるようになり
 ます。だから、つよいどうぶつに
 おそわれても、おかあさんやなか
 まといっしょににげることができ
 るのです。
 しまうまの赤ちゃんが、おかあ
 さんのおちちだけのんでいるの
 は、たつた七日ぐらいのあいだで
 す。そのあとは、おちちのみま
 すが、じぶんで草もたべるよう
 になります。